

3回目の仙台自転車提供報告

12月12日（土）（杉本、特掃西村）AM00：00 西成区出発→12月12日（土）PM14：00 過ぎ仙台市太白区（共同事業体郡山事務所）着 リサイクルプラザの皆さんの気持ちのこもった自転車20台を現地物流本部総括の村上 省三さんに届けました。自転車は、一時事務所に借り置きし、今回は避難所で生活をされている方に届けられるようです。

自転車は本当に役に立ち何台あってもありがたく皆さんに喜んで頂いていますと事務所の方の話を聞いていると、その気持ちがこちらにも伝わって来ます。

実際何処へ、どんな方へ届けられたかということは、現地対策本部事務局長の齋島 一匡さんにより沖野事務局長へ連絡を頂く様になっています。





写真の方が、物流本部総括の村上 省三さんです。



今回は、名取川から北へ荒浜海岸までの海岸沿いの被災地を見て来ました。
前々回、前回とは姿を変え家はほとんどが撤去され、徐々に更地になって行っ
ています。



とはいえ、さら地になっているだけで、次にどうして行くのか？は決まっておらず復旧から復興へとはまだまだ時間がかかるようです。一方では、ガレキ、車、コンクリート、ゴミなどは、種類別に分けられているとはいえ、海岸沿いに山積みになっています。その模様が次の写真です。





荒浜の海岸付近ではまだ、震災の時のままの建物もありました。
今回は、海岸まで行けたのでその写真も写してきましたが、本当にこの地、
この場所で震災が起こったのだろうか？と思うほど静かで美しい海でした。



でも、海の反対側の陸を見てみるとまた現実に戻らされてしまいます。





現在はガレキの撤去などの仕事はあるのですが、男の人だけでそれもいつまでも続かない、女の方は働く場所が無いようです。震災以後会社がつぶれ引き続き会社が運営されているのは、震災前迄に貯えのある会社だけ多くの方は仕事を無くされていて今一番必要なのは、働く場所だと現地事務局長の薮島さんがおっしゃっていました。それと今は、被災にあった方に一時金が、出て失業された方には、失業保険金は、来年1月まで延長して貰える様ですが、その後どうなって行くのだろうか？今以上に生活保護の人が増えていくのでは、無いでしょうか？と様々な問題が、被災地ではたくさんある中、前回は、石巻でのガレキの撤去作業から今は、女川町まで支援物資を配っているそうです。まだ避難所から仕事に行かれています方、家はあるけれど仕事が無く困っておられる方がまだまだ沢山おられその事の話しを聞くと、これからどの様になり、いつになれば普通になるのかと考えると今を有りがたく思わなければいけないと思いました。今回も現地では何一つ支援活動が出来ませんでした。違ったかたちでも何かお役にたてる事があればと思います。

杉本 修